



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



令和6年9月1日号
発行

自民党
神奈川1区支部
発行責任者
平木 茂

9月号
2024年

No.258

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>

ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp

麻生太郎会長、「政策集団」「外交・防衛」「総裁選」を語る

「志公会」夏季研修会 変化を見分ける目を持つこと、それが保守である

8月27日、横浜で開かれた政策集団「志公会」の夏季研修会で、麻生太郎会長は基調講演の冒頭で、いわゆる「派閥」について触れ、「変えなくてはいけないものは、変えなくちゃいけない。変えるべきでないものは変えてはいけない。それを見分ける目が必要であり、それが保守である」とし、また、組織としての所期の目的に反してはいけないと訴えました。

志公会規約第三条（目的）には、「本会は、国益を第一に考え、政治の活性化と安定の為、二大政党制に替わる新たな政治体制の構築実現を目指し、日本の舵取りを担う政治家の育成、政策の研究・立案を主たる目的とする」と謳っています。この規約に基づき、今まで同様これからも、我々は自負と自信を持って目的を追求していく、と目指す道を示しました。

続いて研修会のテーマ「外交」に話を進め、現在の世界の状況を「有事」からすでに「非常時」に移っているという認識を示すとともに、昨年防衛三文書の改訂に触れ、これまでは暗黙の了解であった「防衛費1%を2%に引き上げ、敵基地反撃能力を明示」しましたが、これまでのような大規模な国会周辺での抗議活動は起きませんでした。

国民の認識が大きく変わったのではないかと受け止めを示し、（1）自分の国は自分で守る、そのための武力を持つ、（2）自国を防衛するために必要であれば武力を行使する、（3）このふたつが日本国民のコンセンサスであることを、確実に相手に知らせる。

この3つが機能して初めて「抑止力」が機能するといえ、それを国民と共有するのが政治であり、政治家の仕事であるとし、「国を守る」という意味を明確にしました。

総裁選の候補者の皆さんには総理になることを目的にするのではなく、総理になって、何をしたいのか、日本をどのような国にしたいのか、具体的に議論を尽くして欲しいと求めました。

その上で、我が政策集団には成長した河野太郎候補がおり、長い付き合いをしている私は応援していくが、志公会の皆さんを縛るつもりはない。他に志を共にする候補者がいれば信念をもって頑張れば良い。そして、総裁選後はこれまで通り、政策集団として共に国益を守るために頑張っていくと述べました。



「現在、世界は『有事』から『非常時』に移っている」

いま地域で
(ひと・まち・出来事)

台湾地震への「募金」を直接お届けしました

金沢区「慶珊寺」「宝珠院」住職 佐伯隆道さん



佐伯住職ご夫妻（左のお二人）と、張淑玲處長と

去る7月30日、金沢区の慶珊寺と宝珠院で住職を務める佐伯隆道氏が、今年4月に発生した台湾東部沖地震に対する多くの方々からのご芳志（募金）を、台北駐日経済文化代表處横浜分處・張淑玲處長に直接届けられました。

台湾被災地への募金活動は、佐伯住職の奥様、綾夫人の実家である四国霊場第六十六番礼所「雲辺寺」において行われました。「雲辺寺を訪れた海外や、台湾からお越しいただいた方々も募金してくださいました。募金をして下さった皆様には御朱印をお渡しし、感謝を申し上げました」と佐伯住職。こうして集められた貴重な募金を台湾の方に直接お届けできないかと、佐伯住職は、地元で日華親善協会会長を務める松本純へ相談、対面での寄附が実現しました。張處長は「まさかの時の友こそ、真の友です」と佐伯ご夫妻のご芳志に謝意を述べられました。

立ち会った松本純も「今後も日台の友情はアジアの平和の礎です。災害への募金活動など、一つ一つのご縁が繋がり、信頼が深まる大変意義のある事と存じます」と、県日華親善協会会長として、佐伯ご夫妻に感謝を述べました。

立ち会った松本純も「今後も日台の友情はアジアの平和の礎です。災害への募金活動など、一つ一つのご縁が繋がり、信頼が深まる大変意義のある事と存じます」と、県日華親善協会会長として、佐伯ご夫妻に感謝を述べました。

[2024年 8月]

松本純の活動記録

- 4日●第459回本牧神社「お馬流し」お馬送り式(祭典)
- 6日●実践倫理宏正会「平和記念朝起会」
- 8日●大叔父の命日靖国神社参拝
- 10日●上野町3.4妙香寺台盆踊り
- 令和6年根岸八幡神社例大祭式典神輿渡御
- 15日●峰白山神社夏祭り(宵宮)

- 岡村中部自治会夏祭り(盆踊り)
- 17日●大和町立野町内会夏祭り(縁日)
- 18日●中区第6地区連合町内会盆踊り
- 中原熊野神社祭礼大祭・神輿渡御
- 19日●神奈川薬剤師連盟懇談会
- 25日●神奈川県自動車整備事業磯子金沢支部BBQ会



8/6 東京地方税理士政治連盟・神奈川県税理士政治連盟第58回定期大会懇親会●地区連会長の鈴木崇晴・東京地方税理士政治連盟会長の大会終了の報告後、松本純は祝辞を述べ、皆様との親睦を図りました。



8/15 森浅間神社例大祭式典●金子等世話人代表の進行で例大祭神輿渡御式が行われ、祭礼委員長の金子雅路世話人ご挨拶に続き、松本小寿恵宮司による神事が斎行された後、神輿は氏子町内へと繰り出しました。



8/18 まんまる音楽劇・練習激励●どたばた子育て応援隊主催による音楽劇(9/1に金沢公会堂で公演)の練習を訪れた松本純は、稽古に励む子ども達に「劇を通じて新しい可能性を見つけてください」と激励しました。



8/18 子之大神例大祭渡御納め式●各町内を渡御した神輿が野毛本通りに集結、子之大神例大祭渡御納め式が行われました。祭礼顧問の松本純も地元の野毛2丁目の神輿を担ぎ、集まった皆様に感謝の念を述べました。

永田町日記

政策集団「志公会」
夏季研修会

外交評論家

宮家邦彦氏が語る2025年の国際情勢



有意義だった宮家邦彦氏の「米大統領選挙と2025年の国際情勢」の分析



去る8月27日、横浜で開催された志公会夏季研修会は、外交評論家であり、内閣官房参与（外交担当）宮家邦彦氏をお招きし、各地で戦争がはじまり、激動する世界情勢の中で、外交評論家としての分析をお話いただきました。

中東、ウクライナ、中国の地政学的分析、今年11月に予定されているアメリカ大統領選挙の行方とトランプ氏が大統領に就任した場合の予想される政策など、貴重なお話を聞くことができました。その後の質疑応答では、中国の領

空侵犯に対して日本はどう対峙すべきか、日本の安全保障のこれからのあり方など、10人以上の議員から数多くの質問がなされ、非常に有意義な勉強会となりました。

この学びは政策集団があるからできる事であり、仲間と共に問題意識を共有し、解決策を共に練り上げるといふ本来の政策集団の役割を改めて実感しました。